

拠点独自の環境配慮活動の紹介

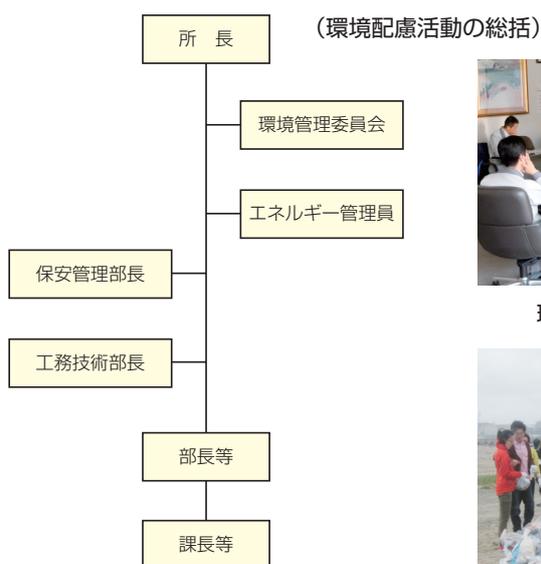
原子力機構では ISO14001 を取得していない拠点においても環境配慮活動のための拠点独自のしくみを作り、活動を実践しています。

原子力科学研究所における環境配慮活動

原科研では「環境配慮管理規程」に基づき「原子力科学研究所環境配慮管理規則」を制定するとともに、安全担当副所長を委員長とする「環境管理委員会」を設置し、2006年より組織全体で環境配慮活動に取り組んでいます。活動内容は環境に配慮した活動であり、コピー用紙使用量削減、上水使用量削減、可燃性一般廃棄物発生量の削減、古紙リサイクルの推進、産業廃棄物の分別徹底、低レベル放射性廃棄物の分別徹底等が挙げられます。また、エネルギー使用の合理化に関する事業活動（電気使用量削減、化石燃料使用量削減）、地球温暖化対策の推進に関する事業活動（温室効果ガス排出量の削減）及び温室効果ガスの算定等があります。

さらに原子力機構の環境目標及び年度計画を受けて、毎年度環境目標と年度計画を立てています。2012年度の環境目標では「省エネルギーの推進」、「省資源の推進」、「廃棄物発生量の低減」及び「地球温暖化対策の推進」に加えて、自主的な目標である「低レベル放射性廃棄物発生量の低減」、「環境負荷物質の適正管理」の6項目を掲げて取り組んできました。9月には上半期の中間報告・評価、1月には暫定報告、4月には最終報告を行い、環境管理委員会にて評価し必要に応じて改善を行うPDCAサイクルを回しています。

その他に、構内花壇の整備の緑化活動や村松海岸、久慈川、国道245号線の清掃ボランティア活動及び地域社会貢献活動等にも積極的に参加しています。



環境管理委員会の様子



構内花壇の整備状況



海岸清掃の様子



勝田全国マラソン大会での給水支援

環境配慮活動組織体制図

環境の整備（美しい環境づくり）

拠点等ごとに敷地内の環境の整備・美化に取り組んでいます。美しい花壇づくりや、緑のカーテンによる夏の省エネにも活かすなど職場環境の向上に取り組んでいます。



「NEATの花壇」たくさんの種類の花が心を癒してくれます



「サイクル研正門の花壇」
花が来訪者をお迎えします



「NEATの緑のカーテン」
省エネにも一役かっています